帯

地力勝ち

出したが、得点には至らな

してさらに進化している。

一冬越えて長距離砲と

口が敵失を誘い同点とし

会で本塁打を放った強打

二回以降も毎回走者を

藤が3安打4打点 失点したものの右横手から を自責点1と好投。 かった。 先発の福島は6回 の制球が良く

小気味良い

がつかめてきた」と頼もし 掛けることを意識。「感覚 たたいて浮力を得る回転を 飛ばそうと、ボールの下を 術的にもより打球を遠くに パワーアップと同時に、

2種類の直球と変化球がさ

た福島圭斗主将(3年) め、昨夏に横手投げに変え

0

好調でボー

-ルもよく見

えた。

守備のほころびや

線も五回以降沈黙した。

ッテリーの配球は課題。

島主将は「守備も打撃も強

夏は勝利をつかむ」

七回に

する大切さを学んだ。 たり前のことを当たり前に ヨナラ負けしたことで、 隙を突かれて本盗され、 間にホームベースを空けた

1年の秋から投手を始

ばコー 揮した。 投球を見せた。

江陵

技術面も進化 長距離砲工藤 芽室のエースのテンポの ○…江陵が終わってみれ -ルド勝ち。 。地力を発

> との準々決勝に臨んだ。 絡む打撃を」と難敵の帯北 えているという。「得点に

爽やか全力疾走

芽室

とリベンジを誓った。

-芽室】江

塁で工藤遼太朗(3年)が、 良い投球に手を焼い 七回につかまえた。 無死満

たが、 せた。 き 爽やかな戦いぶりを見 …芽室はきびきびと動 遼太朗が走者一掃となる左 陵は7回無死満塁から工藤 【2回戦・江陵-

から松野と砂金の連打で 、二塁に。三橋の内野ゴ 左中間に深々と運び、 一掃の三塁打を放った。 工藤は昨夏の北北海道大 走者 ちろん、 勝の帯柏葉戦、 疾走。昨秋の支部予選準決

攻守交代でも全力

プレーの合

葉

芽室は初回に2死無走者 了55984R3H46①7②犠3小高早工丑平及佐水佐井笹伏大併0小高早工丑平及佐水佐井笹伏大併0、盗2小高早工丑平及佐水佐井笠伏大併0人高早工丑平及佐水佐井笠人大供0人。

福島6%31市原 14

6

2911743 室】 打安点振球 30001

Ŏ Ŏ Ō O O O

10511226 180210

肩口から入るスライダーを 打者の一塁への走塁はも 中間三塁打を放つ

た。

吾 (

六回と小刻みに

藤の中前適時打で先制し

江陵は初回1死三塁、

芽

室

18

陵 Ž 回 戦

16 日

加点。

七回は大井の中前打

を皮切りに、工藤の左中間

への3点適時三塁打など4

点した。投げては初戦で完

めて打者9人の猛攻で5得

連打と四球、

スクイズも絡

で自責点ゼロに抑えた。

封した笹森が、

七回途中ま